現状

■県内の介護職員等の

人数〈H25〉15,296 人

(H20 比 4千人增)

現在の姿(饅頭型)

将来展望・キ 見えづらい

車

門

度

約 5600 人の介護福祉 ・ 対 5000 ハンバー ・ 士など専門職員がいるも のの、一般介護従事者な どとの役割が明確でなく、 離職しやすい状態

専門性が不明確 役割が混在

介護職への理解 イメージ向上が不十分

早期離職する 女性・中高年齢者等

〇若者の介護離れ

介護福祉士養成校の入学者の減 【入学者数(充足率)】 〈H16〉248人(99.2%)

⇒〈H28〉102人(56.7%)

〇慢性化した人手不足

⇒有効求人倍率が高い

(県内)H27 全職種:1.42 倍

介 護:3.59 倍

⇒勤続年数が短い

(全国)H26:全職種 14.2 年

介護 5.4 年

⇒介護の離職率が高い

(5年間平均(H22~H26))

全国:16.8% 富山県:13.9% (全産業計 全国:15.0% 富山県 14.5%)

〇厳しい労働環境

⇒低い給与水準

H26 全職種 33 万円/月(全国) 介護 22 万円/月(")

⇒イメージが良くない

「3K 職場」のイメージ

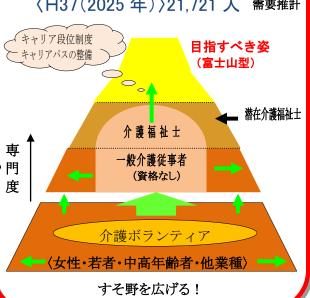
⇒身体・精神的な負担が大きい

夜勤等の変則勤務、要介護度 の高まりによる高度な介護

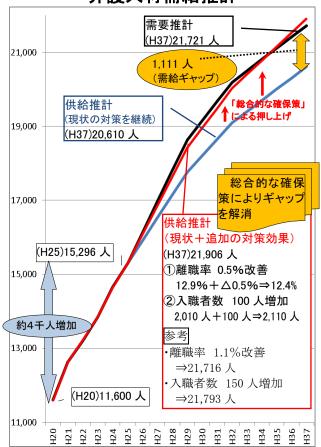
課題

■2025 年まで 7 千人必要

〈H37(2025 年)〉21.721 人 需要推計



介護人材需給推計



- ○養成校の入学者減により、将来の介護人 材の確保が難しい
- ○多様な人材への掘り起しが必要
- 〇介護の魅力・やりがいのアピール不足
- ○働きやすい職場環境が必要